

基本文献研究 I

科目ナンバリング JLT-219
選択 2単位

木村 康平

1. 授業の概要(ねらい)

古事記を読みます。

古事記は和銅5年(712)に成立したと、その序文にしろされる、わが国に現存する最古の書物です。上・中・下の3巻からなり、上巻は世界の始まりからカムヤマトイハレビコノミコト(神武天皇)の誕生までの神代、中巻は神武天皇から応神天皇までの、神と人の中つ代、下巻は仁徳天皇から推古天皇までの人代を語り、推古天皇までを古代とする歴史認識のもとに編まれています。

天皇王権の由来と正統性を、神話に規範を仰ぎつつ説くものです。また、中巻には神武東征やヤマトタケルの全国征旅など、王権の確立を語る物語が置かれています。一方で、サホビコ・サホビメきょうだいの叛乱伝承など、王権に抗して倒れた人々の物語をもしるし、その悲劇性が古事記の豊かな文学性のみなもとともなっています。また、下巻には儒教的君子仁徳天皇を先立てて、人の代、国の統治のあり方が、多くの恋物語に絡めて語られています。

春学期は上巻を読みます。古文の知識がなくても分かるように説明します。難しく考えないで、まず、古事記の物語性を楽しみたいと思います。

2. 授業の到達目標

古事記の神話や説話を読むことを通じて、古代の文学に親しみをもつことができる、古代の人々のものの考え方や生き方を知ることができる、古代文学に関する基礎的な知識を修得することができる、を目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(50%)と平常点(出席状況・コメントシート・小レポートなど併せて、50%)によって評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキスト: 毎回プリントを用意します。

参考文献

西郷信綱 『古事記の世界』 岩波新書

5. 準備学修の内容

- ・授業で取り上げた箇所について、復習すること。
- ・配付するプリントには毎回「質問」がしるされています。これについて各自考えること。
- ・授業時に紹介した参考書などにふれる機会をもつこと。
- ・自ら疑問をたて、さらに発展的に学習すること。

6. その他履修上の注意事項

出席することが大切です。遅刻をしないこと。また、授業マナーは守りましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 世界のはじまりをどう語るかー古事記の冒頭
- 【第2回】 古事記とは何か(古事記の成立・編者・文体など)①
- 【第3回】 古事記とは何か(古事記編纂の背景ー天武天皇と新王朝)②
- 【第4回】 イザナキとイザナミー兄妹婚と世界の立てなおし
- 【第5回】 黄泉の国訪問(死者の世界はどのように考えられていたか)
- 【第6回】 死のけがれを経てうまれ出た、世界を統べる者ーアマテラス
- 【第7回】 理知的な姉アマテラスと乱暴者の弟スサノヲの相剋(秩序・破壊・再創造)
- 【第8回】 身を隠すアマテラスー天の岩戸神話(太陽の死と再生)
- 【第9回】 スサノヲの女神殺害(穀物の起源と大地母神)
- 【第10回】 ヤマトノヲチ退治(自然神から新しい文化神への交代)
- 【第11回】 大国主神と因幡のシロウサギ(呪医としての王ー王の資格とは何か)
- 【第12回】 大国主神の受難と根の国訪問(王は異界の力を身に帯びて統治する)
- 【第13回】 八千矛神をめぐる愛と嫉妬の歌
- 【第14回】 出雲神話と大和の関係
- 【第15回】 全体のふりかえり(・試験)